

第3期情報システムの更新状況について

引用	学術情報センター年報 情報. 23, p.29-30
URL	http://hdl.handle.net/10466/15632

第3期情報システムの更新状況について

情報システム室 片上 伸夫

1. 要旨

2015年5月に策定された「大阪府立大学第3期情報システム基本方針」にそって、第3期情報システムの調達、及び更新を実施してきたが、大きな問題なく更新が終了した。

2. 検討体制

第3期情報システムの調達にあたっては、総合評価一般競争入札を基本として調達を実施した。これにあたり、各システムについて、教職員の識者が参加する仕様検討ワーキング・仕様策定委員会・提案審査委員会を設置し、情報システム室が事務局機能を担って検討を進めた。

仕様の検討にあたっては、機能要件については当該システムの業務を担当している所管課や教員が担当し、各システムに共通する非機能要件を情報システム室が担当した。仕様書については仕様策定委員会で審議後、情報システム委員会に付議して決定していった。また、構築・更新にあたっては、PMO体制をとり、特に各システム間連携（データや機能の連携、それらに関するテストの実施等）に関する課題の把握と進捗の管理に注力した。

3. 各システムの更新内容概要（カッコ内は機能要件担当所管）

(1) キャンパスネットワークシステム（学術情報センター）

複数のスイッチの組合せによる冗長化構成による耐障害性の向上、インターネット接続部の高速化等、全学でのDHCPサービスの導入等の機能・性能向上を図って更新した。

（2016年8月より段階的に切り替え実施）

(2) 情報基盤システム（学術情報センター）

学生のメールのクラウドサービスへの移行、全学でのDHCPサービスの導入等の機能・性能向上を図って更新した。また、情報基盤システムの更新の一環で更新した標準CMSサーバについても冗長化構成とし、稼動中にメンテナンスを可能とする等の運用性の改善を図った。（2016年10月更新）

(3) ソフトウェア提供サービスの維持継続（学術情報センター）

ソフトウェアダウンロードシステムを新たに更新し、包括ソフトウェアライセンス（マイクロソフト・ウイルス対策ソフト）の学外からのダウンロードも可能とする等のサービスの向上を図った。（2017年1月末更新）

(4) 図書館システム（学術情報センター）

旧来のシステム機能踏襲の方針のもとで、帳票類の過不足の検討結果等を反映した上で、

新システムに更新した。(2017年1月末更新)

(5)人事給与システム(人事課)

大阪市立大学との法人統合を見据え、新たなシステム調達を行わずハードウェア・OS・ミドルウェアを更新し、その上で勤怠管理機能の追加を行い更新した。(2017年2月末更新)

(6)教務学生システム(教育推進課・学生課)

大阪市立大学との大学統合時に機能全体の統合検討を行うことを想定し、既存システムの機能を踏襲することを基本とした上で、ハードウェア・OS・ミドルウェアの更新、及び、一部機能改善を行い更新した。(2017年2月末更新)

(7)財務会計システム(財務課)

大阪市立大学との法人統合を見据え、2018年6月末までのリース延長した上で、ハードウェアの保守不可によるシステム運用リスクを回避するため、情報基盤システムの仮想化環境に移行するとともに、大阪市立大学のシステムとの親和性をふまえての次期システムの検討を開始している。(2017年3月末仮想化環境移行実施)

(8)教育支援系システム(学術情報センター)

従来、授業支援システム、出席管理システム、ポートフォリオシステムとして個別に調達してきたが、教育を支援する観点で共通しており、システム間のデータ連携も多いため、教育支援系システムとして一括して調達することとした。Moodleのバージョンアップ、無線LAN環境でスマートフォンからの利用、受講生の表示順を教務学生システムの表示順と連動させる等の改善を行った上で更新した。(2017年3月末更新)

4. 今後について

更新した各システムの安定運用を維持するとともに、今後の法人統合に向けたシステムの統合の検討にあたっては、各システムの有効活用を念頭において進めていくこととなる。

第3期情報システムの更新に係っていただいた多くのかたがたに感謝するとともに、今後の運用に引き続きご支援をお願いする。